

平成30年1月18日

輸送動向について（平成29年12月分）

1. 輸送概況

今月は、中旬の東海道線輸送障害、下旬の東北・北海道地区での強風等の影響により、月全体で高速貨154本、専貨2本が運休した（前年は、高速貨78本が運休）。また台風18号の影響で不通となっていた日豊線は、12月18日に運転再開となり、復旧までの間トラックによる代行輸送を実施した。

コンテナは、積合せ貨物がドライバー不足を背景に年末需要が旺盛となり、九州向けを中心に鉄道へのシフトが進んだ。食料工業品では共同輸送が進む大阪発北陸向けや北海道内のビールに加え、北海道の菓子類が順調に推移した。また、東海地区からの発送が好調な自動車部品、建設発生土輸送が堅調なエコ関連物資、需要が増加している化学薬品が前年を上回った。

一方、印刷紙・コート紙の需要減に伴い低調な紙・パルプのほか、家電・情報機器、化学工業品が前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比101.7%となった。

車扱は、気温の低下に伴う需要増および配送圏の見直しに伴い、石油が好調に推移したことに加え、セメントが定期修繕時期の変更により、前年を上回った。その結果、車扱全体では前年比107.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比103.5%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,981	1,948	101.7%	16,941	16,431	103.1%
車 扱	1,001	933	107.3%	6,512	6,368	102.3%
合 計	2,982	2,880	103.5%	23,454	22,798	102.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	197	198	-1	99.8%
	化学工業品	176	179	-3	98.3%
	化学薬品	130	127	3	102.6%
	食料工業品	349	344	5	101.4%
	紙・パルプ	262	265	-3	98.9%
	他工業品	132	131	1	100.9%
	積合せ貨物	263	248	15	105.9%
	自動車部品	70	67	3	104.5%
	家電・情報機器	37	38	-1	98.0%
	エコ関連物資	44	41	3	106.6%
	その他	320	309	11	103.5%
	コンテナ計	1,981	1,948	33	101.7%
車 扱	石油	720	680	40	106.0%
	セメント・石灰石	122	103	19	118.3%
	車両	95	92	3	103.7%
	その他	63	58	5	109.3%
	車扱計	1,001	933	68	107.3%
合 計		2,982	2,880	102	103.5%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）